

令和5年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



佐世保市立日宇中学校

所在地 佐世保市日宇町2181番地
校長名 中野 一史
生徒数 1学年197名、2学年205名、3学年186名
全校 588名（22学級 うち特別支援5学級）
校訓 「自主・努力・敬愛・健康」



1 日宇中学校の「特色ある学校づくり」について

本校の教育目標であり、「特色ある学校づくり」のテーマでもある「豊かな心を持ち、進んで学び、健やかでたくましく行動する生徒の育成」の実現に向けて、次の4つの事業で特色ある学校づくりを進めています。

- (1) 学力向上事業
 - 学力向上の取組
 - 個に応じた指導への取組
- (2) 豊かな心の育成事業
 - 外部講師を招聘しての各種講演会の実施
 - 職場体験学習の実施
 - 地域清掃活動の実施
- (3) 心のオアシス事業
 - 「心のオアシス」としての図書室等の環境整備
- (4) 開かれた学校づくり事業
 - 地域行事（どんど焼き）への参加
 - 環境整備に係る取組



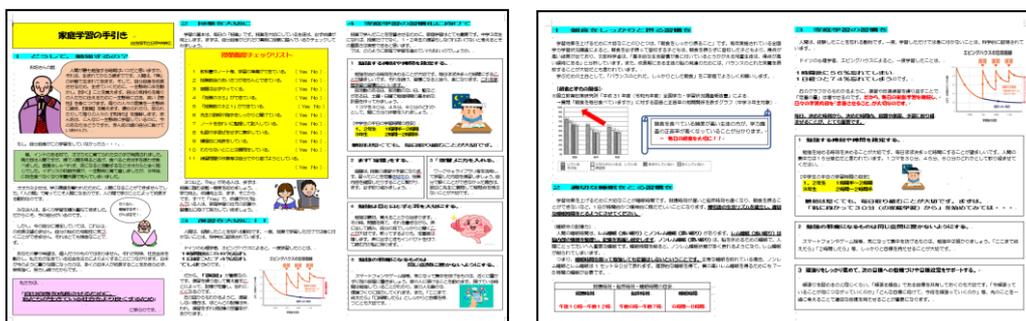
2 実践内容・成果

(1) 学力向上事業

① 学力向上の取組

学力調査の結果を基に、本校生徒の学力の現状を知るとともに、今後の学力向上に向けた共通理解を図りました。その内容を受けて、各教科の授業などで行う事項を「こだわりの取組」として共通実践として取り組みました。その成果を、12月実施の「リベンジテスト（4月に実施した各種学力調査に再チャレンジしたもの）」に取り組んだ結果で検証しましたが、着実な向上が見られました。

また、本校の課題として挙げられた「家庭学習の習慣化」を図るために、PTAと協力して保護者向けリーフレット「子どもの学びの習慣化のために」と生徒向け啓発資料「家庭学習の手引き」を作成・配付し、取組の指針として活用しました。



② 個に応じた指導への取組

生徒一人ひとりに関する理解を深め、個に応じた適切な支援ができるようにするために、1・2年生を対象として2回目のi-check（1回目については、全学年を対象として5月に実施）を、12月に実施しました。調査結果を生徒に返し、自分自身を振り返る場を設定するとともに、全職員で共通理解することで、生徒が安心して生活できる学校づくりに向けた体制づくりを進めました。

(2) 豊かな心の育成事業

① 外部講師を招聘しての各種講演会の実施

「メディア講演会」「生き方発見講話」「性教育セミナー」等の開催を通して、「メディアとのより良い付き合い方」「自身の理想の未来をイメージすること」「在るべき『性』の考え方」などについて、専門的な知見について学びながら、自己の考えを形成する場を設定しました。生徒の感想にも、前向きな意見が多く見られ、生徒にとって今日的な課題について考える貴重な契機となりました。



② 職場体験学習の実施

コロナ禍のために3年間実施していなかった職場体験学習を、2年生を対象として実施しました。活動内容としては、キャリア教育の一環として、各事業所に出向き、3日間の勤労体験学習に取り組むものでした。この活動を中心に据え、その事前と事後に働くことやより良い接遇等について学ぶ場や学習の成果を効果的にまとめ伝える場を設定することで、生徒が正しい職業観について考えを形成する場を設定しました。自身の体験を通して学



ぶことは、生徒たちにとっては新鮮であり、貴重な経験をすることができたようです。

② 地域清掃活動の実施

「日宇川水すましの会」の協力を得て、2年生が日宇川清掃に取り組みました。4年ぶりの開催となりましたが、事前学習として日宇川の現状等について学ぶなど、地域について知るとともに、その環境について守っていく意識を高める良い機会となりました。

また、学校及びその周辺の清掃活動に取り組む活動（「勝利を拾う清掃」）に部活動単位で取り組みました。全19回実施し、日頃から支えてくださっている地域の方々に感謝の思いを伝えることができました。

これらの活動を通して、地域の自然を大切にするとともに、「地域社会の一員」として地域に貢献する心を醸成しました。



(3) 心のオアシス事業

① 「心のオアシス」としての図書室等の環境整備の実施

「読解力の育成」「知識を増やす」という視点だけでなく、「心を豊かにする」というねらいで、読書活動の一層の推進に取り組みました。その中核となる図書室を「心のオアシス」と位置づけ、その環境整備を行いました。また、専門委員会の活動と連携しながら、「多読賞」などの「読書イベント」を設定することで、生徒が読書に取り組む環境づくりを進めました。

(4) 開かれた学校づくり事業

① 地域行事（どんど焼き）の参加

「生徒・保護者・地域・学校との親睦の場」「地域の伝統継承・思い出作りの場」として、PTAと日宇地区自治協議会青少年健全育成部との共催で、1月に「どんど焼き」を実施しました。部活動単位等で多くの生徒が参加しましたが、準備や片付けにも意欲的に取り組むとともに、「新年の誓い」としてたくさんの参加者（生徒及び教職員）が自身の決意を堂々と伝えるなど、心温まる行事とすることができました。



② 環境整備に係る取組

保護者や地域の方々が来校された際に、日頃の感謝の思いを伝えるために、のぼりを立てたりウェルカムボードにメッセージを書いたりして迎えることができる環境づくりを行いました。



また、学校の取組を地域の方々にも知っていただけるようにHPで積極的に情報を発信しました。年間で15万件を超えるアクセスがあるなど、地域の学校教育への関心の高さを感じました。

新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況が大きく変わった今年度、学校の教育活動も大きな転換点にあります。これまでできなかった活動に取り組むことができたり、これまでと違った新しい活動の在り方を探る必要に迫られたりするなど、手探りの中で様々な活動を進めています。そんな中で、大きな支えとなってくださったのは、やはり保護者の皆様の理解と地域の皆様の支援でした。本当にありがとうございます。今後も、生徒が安心して過ごせる学校づくり、自分の良さを伸ばしていける活動を目指して頑張ってまいります。変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。